

設定変更の方法は、機種により異なります(メニュー操作やスイッチ操作)ので、以下を参照に設定してください。ご使用となるインターカムシステムに応じた設定を、下記を参考にお願いします。

## 1. BSX-100/CCUX-100

OCP-300 等の操作パネル、または BS/CCU 前面のメニュー操作つまみから BS/CCU メニューを開き、メインメニュー項目「SYSTEM SETTING (2/2)」内の、「INTERCOM SETTING」にて各種の設定を行います。メインメニューは以下の構成となっています。(メニューは PM\_OUT に表示)

- 1、INFORMATION
- 2、DIAGNOSIS
- 3、PRESET FILE LOAD
- 4、CAMERA MENU
- 5、SYSTEM SETTING (1/2)
- 6、SYSTEM SETTING (2/2)**
- 7、CONFIGURATION

PM画面



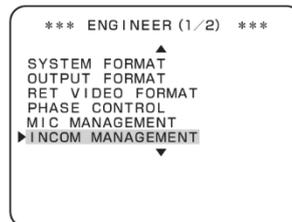
### ● INTERCOM SETTING

INTERCOM SETTING			インターカム回線の設定を行います。
INTERCOM LINE	2LINE	2LINE / 1LINE	回線数の設定を行います。
ENGINEER IF	4W	4W / RTS / CC	4W / RTS / CC 入出力の設定が連動します。連動後個別設定可能です。
INPUT TERM	600	600 / 10k / ---	600 / --- / ---
OUTPUT LOAD	---	--- / OPEN / 200	--- / OPEN / OPEN
PRODUCER IF	4W	4W / RTS / CC	4W / RTS / CC 入出力の設定が連動します。連動後個別設定可能です。
INPUT TERM	600	600 / 10k / --	600 / -- / --
OUTPUT LOAD	---	--- / OPEN / 200	--- / OPEN / OPEN
PGM1 TERM	600	600 / 10k	PROGRAM AUDIO の設定を行います。
PGM1 INPUT LEVEL	0dB	0dB / -20dB / 4dB	
PGM2 TERM	600	600 / 10k	
PGM2 INPUT LEVEL	0dB	0dB / -20dB / 4dB	
PGM3 TERM	600	600 / 10k	
PGM3 INPUT LEVEL	0dB	0dB / -20dB / 4dB	
FRONT INTERCOM MIC	DYNAMIC	DYNAMIC / CARBON / ECM	BS 前面のヘッドセットマイクの種類を設定します。 ※ INTERCOM MIC POWER は、ECM 選択時のみ ON/OFF 設定可能です。
INTERCOM MIC POWER	OFF	ON / OFF	
PGM MIX	OFF	OFF / PGM1 / PGM2 / PGM3	
PGM LEVEL	X1.00	X0.00 to 2.00	

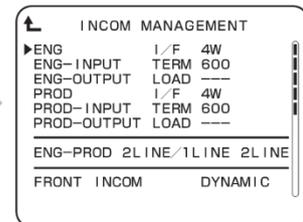
## 2. BS-98,CCU-980

OCP-300 等の操作パネル、または BS/CCU 前面のメニュー操作つまみから BS/CCU メニューを開き、メインメニュー項目「ENGINEER (1/2)」内の、「INCOM MANAGEMENT」にて各種の設定を行います。メインメニューは以下の構成となっています。(メニューは PM\_OUT に表示)

- 1、BARS TITLE
- 2、PRESET FILE LOAD
- 3、HEAD MENU
- 4、INFORMATION
- 5、ENGINEER (1/2)**
- 6、ENGINEER (2/2)



点滅カーソルを「INCOM MANAGEMENT」に合わせて、確定します。



サブメニュー「INCOM MANAGEMENT」が表示され、各種設定を行います。

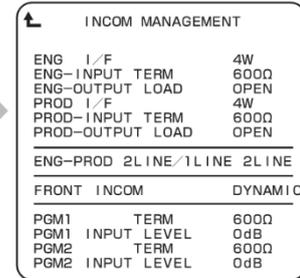
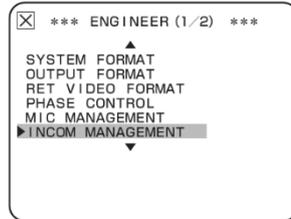
### ● INCOM MANAGEMENT

設定項目	設定値	内容
ENG IF	4W	Engineer line intercom system を 4-wire に設定します。
	RTS	Engineer line intercom system を RTS に設定します。
	CC	Engineer line intercom system を Cler-Com に設定します。
ENG-INPUT TERM (4W 設定時のみ有効)	600	Engineer line intercom system の入力終端インピーダンスを 600Ω に設定します。
	10k	Engineer line intercom system の入力終端インピーダンスを 10kΩ に設定します。
ENG-OUTPUT LOAD (RTS/CC 設定時のみ有効)	OPEN	Engineer line RTS/Cler-Com のシステムインピーダンス設定を OPEN にします。
	200	Engineer line RTS/Cler-Com のシステムインピーダンス設定を 200Ω にします。
PROD IF	4W	Producer line intercom system を 4-wire に設定します。
	RTS	Producer line intercom system を RTS に設定します。
	CC	Producer line intercom system を Cler-Com に設定します。
PROD-INPUT TERM (4W 設定時のみ有効)	600	Producer line intercom system の入力終端インピーダンスを 600Ω に設定します。
	10k	Producer line intercom system の入力終端インピーダンスを 10kΩ に設定します。
PROD-OUTPUT LOAD (RTS/CC 設定時のみ有効)	OPEN	Producer line RTS/Cler-Com のシステムインピーダンス設定を OPEN にします。
	200	Producer line RTS/Cler-Com のシステムインピーダンス設定を 200Ω にします。
ENG-PROD 2LINE/1LINE	2LINE	回線システムを Engineer/Producer 独立 2 回線として使用する場合の設定です。
	1LINE	Producer line を Engineer line に統合し、1 回線とします。
FRONT INCOM	DYNAMIC	機器前面に接続する Headset のマイクロフォンを DYNAMIC タイプに設定します。
	CARBON	機器前面に接続する Headset のマイクロフォンを CARBON タイプに設定します。
	ECM	機器前面に接続する Headset のマイクロフォンを ECM タイプに設定します。
MIC POWER SUPPLY	ON/OFF	マイクロフォンを EMC に設定したときに給電するか否かの設定をします。
	PGM1 TERM	600
PGM1 INPUT LEVEL	10k	Program Audio #1 の回線終端インピーダンスを 10kΩ に設定します。
	4dB	Program Audio #1 の入力レベルを +4dBs に設定します。
	0dB	Program Audio #1 の入力レベルを 0dBs に設定します。
PGM2 TERM	-20dB	Program Audio #1 の入力レベルを -20dBs に設定します。
	600	Program Audio #2 の回線終端インピーダンスを 600Ω に設定します。
	10k	Program Audio #2 の回線終端インピーダンスを 10kΩ に設定します。
PGM2 INPUT LEVEL	4dB	Program Audio #2 の入力レベルを +4dBs に設定します。
	0dB	Program Audio #2 の入力レベルを 0dBs に設定します。
	-20dB	Program Audio #2 の入力レベルを -20dBs に設定します。
PGM3 TERM	600	Program Audio #3 の回線終端インピーダンスを 600Ω に設定します。
	10k	Program Audio #3 の回線終端インピーダンスを 10kΩ に設定します。
	4dB	Program Audio #3 の入力レベルを +4dBs に設定します。
PGM3 INPUT LEVEL	0dB	Program Audio #3 の入力レベルを 0dBs に設定します。
	-20dB	Program Audio #3 の入力レベルを -20dBs に設定します。
	PGM MIX FRONT INCOM	OFF/PGM1,2,3
PGM -> FR-INCOM LEVEL	x0.00 ~ x 2.00	機器前面の INCOM 出力にミックスする PGM のレベルを設定します。

### 3. BSF-55

OCP-200 等の操作パネルから BS/CCU メニューを開き、メインメニュー項目「ENGINEER (1/2)」内の、「INCOM MANAGEMENT」にて各種の設定を行います。メインメニューは以下の構成となっています。(メニューは PM\_OUT に表示)

- 1、 BARS TITLE
- 2、 PRESET FILE LOAD
- 3、 HEAD MENU
- 4、 INFORMATION
- 5、 ENGINEER (1/2)**
- 6、 ENGINEER (2/2)



MASTER PEDESTAL コントロールつまみ、または IRIS コントロールつまみを回し、点滅カーソルを「INCOM MANAGEMENT」に合わせて、CALL ボタンを押します。

サブメニュー「INCOM MANAGEMENT」が表示され、各種設定を行います。

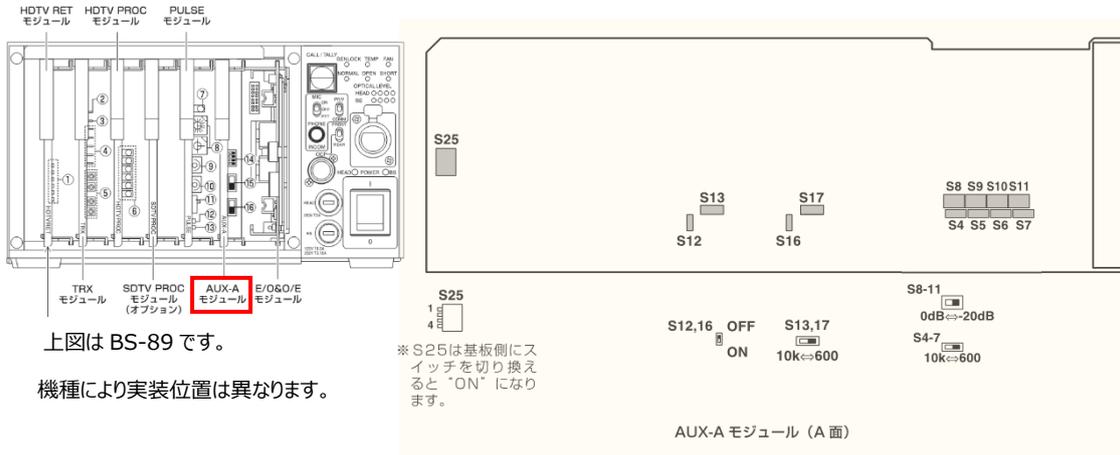
#### ● INCOM MANAGEMENT

設定項目	設定値	内容
ENG I/F	4W	システムインターカムの ENG 回線を 4W に設定します。
	RTS	システムインターカムの ENG 回線を RTS に設定します。
	CC	システムインターカムの ENG 回線をクリアカムに設定します。
ENG-INPUT TERM	600	システムインターカムの ENG 回線入力終端抵抗を 600Ω に設定します。
	10k	システムインターカムの ENG 回線入力終端抵抗を 10KΩ に設定します。
ENG-OUTPUT LOAD	OPEN	システムインターカムの ENG 回線ロード終端抵抗を OPEN に設定します。
	200	システムインターカムの ENG 回線ロード終端抵抗を 200Ω に設定します。
PROD I/F	4W	システムインターカムの PROD 回線を 4W に設定します。
	RTS	システムインターカムの PROD 回線を RTS に設定します。
	CC	システムインターカムの PROD 回線をクリアカムに設定します。
PROD-INPUT TERM	600	システムインターカムの PROD 回線入力終端抵抗を 600Ω に設定します。
	10k	システムインターカムの PROD 回線入力終端抵抗を 10KΩ に設定します。
PROD-OUTPUT LOAD	OPEN	システムインターカムの PROD 回線ロード終端抵抗を OPEN に設定します。
	200	システムインターカムの PROD 回線ロード終端抵抗を 200Ω に設定します。
ENG-PROD 2LINE/1LINE	2LINE	インターカムの 2 回線 (ENG および PROD) がシステムに使用される場合に "2LINE" に設定します。
	1LINE	PROD 回線の音声が ENG 回線の音声に混合され、インターカムの 1 回線 (ENG) がシステムに使用される場合に "1LINE" に設定します。
FRONT INCOM	DYNAMIC	前面のインターカムにダイナミックマイクを使用する場合に "DYNAMIC" に設定します。
	CARBON	前面のインターカムにカーボンマイクを使用する場合に "CARBON" に設定します。
PGM1 TERM	600	PGM1 の終端抵抗を "600 Ω" に設定します。
	10k	PGM1 の終端抵抗を "10k Ω" に設定します。
PGM1 INPUT LEVEL	0dB	PGM1 の入力レベルが "0dB" のときに設定します。
	4dB	PGM1 の入力レベルが "4dB" のときに設定します。
	-20dB	PGM1 の入力レベルが "-20dB" のときに設定します。
PGM2 TERM	600	PGM2 の終端抵抗を "600 Ω" に設定します。
	10k	PGM2 の終端抵抗を "10k Ω" に設定します。
PGM2 INPUT LEVEL	0dB	PGM2 の入力レベルが "0dB" のときに設定します。
	4dB	PGM2 の入力レベルが "4dB" のときに設定します。
	-20dB	PGM2 の入力レベルが "-20dB" のときに設定します。

## 4. BS-89,BS-89A,BS-97,CCU-890,CCU-970

AUX-A 基板内のスイッチにて設定を行います。

下記を参考に設定をお願いします。

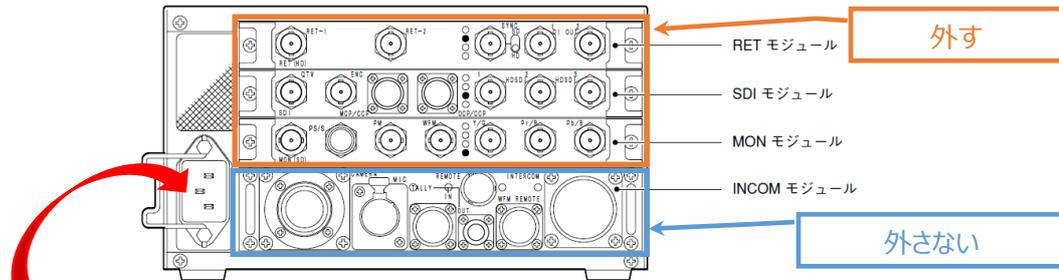


スイッチ番号	機能名称	設定	内容
S12	ENG RTS OFF	OFF	システムの ENG 回線が 4W の場合に設定します。
		ON	システムの ENG 回線が RTS またはクリアカムの場合に設定します。
S13	ENG 回線終端	600	ENG 回線の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	ENG 回線の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S16	PROD RTS OFF	OFF	システムの PROD 回線が 4W の場合に設定します。
		ON	システムの PROD 回線が RTS またはクリアカムの場合に設定します。
S17	PROD 回線終端	600	PROD 回線の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	PROD 回線の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S25	1 ENG RTS ON	OFF	システムの ENG 回線が 4W の場合に設定します。
		ON	システムの ENG 回線が RTS またはクリアカムの場合に設定します。
	2 ENG RTS -15dB ON	OFF	システムの ENG 回線が RTS の場合に設定します。
		ON	システムの ENG 回線がクリアカムの場合に設定します。
3 PROD RTS ON	OFF	システムの PROD 回線が 4W の場合に設定します。	
	ON	システムの PROD 回線が RTS またはクリアカムの場合に設定します。	
4 PROD RTS -15dB ON	OFF	システムの PROD 回線が RTS の場合に設定します。	
	ON	システムの PROD 回線がクリアカムの場合に設定します。	
S4	PGM-1 回線終端	600	PGM-1 の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	PGM-1 の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S5	PGM-2 回線終端	600	PGM-2 の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	PGM-2 の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S6	PGM-3 回線終端	600	PGM-3 の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	PGM-3 の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S7	AUDIO TRUNK 終端	600	AUDIO TRUNK の終端抵抗を“600 Ω”に設定します。
		10k	AUDIO TRUNK の終端抵抗を“10k Ω”に設定します。
S8	PGM-1 LEVEL	0dB	PGM-1 の入力レベルが“0dB”のときに設定します。
		-20dB	PGM-1 の入力レベルが“-20dB”のときに設定します。
S9	PGM-2 LEVEL	0dB	PGM-2 の入力レベルが“0dB”のときに設定します。
		-20dB	PGM-2 の入力レベルが“-20dB”のときに設定します。
S10	PGM-3 LEVEL	0dB	PGM-3 の入力レベルが“0dB”のときに設定します。
		-20dB	PGM-3 の入力レベルが“-20dB”のときに設定します。
S11	AUDIO TRUNK LEVEL	0dB	AUDIO TRUNK の入力レベルが“0dB”のときに設定します。
		-20dB	AUDIO TRUNK の入力レベルが“-20dB”のときに設定します。

## 5. BS-79LP

INCOM 基板のスイッチにて設定を行います。

INCOM 基板を外すことは難しいので実装したまま、その上部 3 種類のモジュールを外し、その空間から INCOM 基板の設定を切り替えて下さい。(RET、SDI、MON の 3 モジュールを引き抜く)



【△警告】感電の恐れがある為、作業時は AC ケーブルを抜いてからの作業をお願いします。

ENG 回線				PROD 回線			
	4W	クリアカム	RTS		4W	クリアカム	RTS
S2		-15dBs	1V	S102		-15dBs	1V
S3	ON	OFF	OFF	S103	ON	OFF	OFF
S4	4W	RTS(2W)	RTS(2W)	S104	4W	RTS(2W)	RTS(2W)
S5	OFF	ON	ON	S105	OFF	ON	ON

注 1) S1,S101,S501,S503 については、通常“600Ω”側に設定してください。(必要に応じ変更)

注 2) S502,S504 については、通常“0dB”側に設定してください。(システムのレベルによって変更)

